

学校運営協議会 議事録

校名	府立だいせん聴覚高等支援学校
校長名	塩谷 謙二

開催日時	令和4年1月27日(木)
開催場所	府立だいせん聴覚高等支援学校
出席者(委員)	安田忠典 委員、澁谷栄作 委員、余部信也 委員、野中和夫 委員 松田順子 委員、杉本美德 委員
出席者(学校)	校長、教頭、首席2名、部主事、 進路指導部主任、教務部主任、事務長
傍聴者	なし
協議資料	令和4年度学校経営計画 他
備考	澁谷委員、余部委員、杉本委員の3名はオンライン参加

議題等(次第順)	
1 開会挨拶【校長】	2 進路状況報告【進路指導部長】
3 学校教育自己診断結果【首席】	4 令和3年度学校経営計画評価【学校長】
5 令和4年度学校経営計画【学校長】	6 保護者からの意見書について【事務局】
	7 その他【事務局】
協議内容・承認事項等(意見の概要)	
<p>3 学校教育自己診断結果【首席】</p> <p><u>各委員からのご意見</u></p> <p>・③「学校生活やその指導は適切である」⑩「先生は、いじめについて私たちが困っていることがあれば真剣に対応している」の満足度が10%以上、上昇したことについて、具体的に説明してほしい。</p> <p>→【学校長】以前は、専攻科の学校のルールに、頭髮や化粧についての厳格な決まりがあったが、就労に向けて自分たちで考えられるよう、生徒を信頼して、後期から生徒にある程度ゆだねる形にした。いじめについては、府の方針もあり、生徒に直接調査ができる仕組みになった。また、各教員も毎年、いじめや体罰の研修も行っており、生徒指導がきめ細やかになった。</p> <p>・いじめについては、スマートフォンが当たり前になったので、これによるいじめに対応する必要がある。</p> <p>→【学校長】根底には道徳教育が必要となる。学校経営計画にも「知・徳・体」を掲げているが、道徳心を養う教育をしていきたい。</p> <p>・生徒の回答で、コロナの影響もあると思われるが、①「学校に行くのが楽しい」⑮「他校との交流や共同学習は意義があり、内容に満足している」が下がっている点について、来年度以降の施策を説明してほしい。</p> <p>→CとDの評価を付けた生徒を、重く見る必要がある。授業の中での学ぶ楽しさや、友達との語らいなどを高揚する手立てが必要である。</p> <p>4 令和3年度学校経営計画評価【学校長】 令和3年度学校経営計画評価、出席委員の全会一致で承認。</p> <p><u>各委員からのご意見</u></p> <p>・地域から来た子どもは、手話を使ってきていないので、生徒向けの手話講座を実施してもらいたい。</p> <p>→【学校長】授業は、事前に口話をする教員を担当にして、手話と口話の両方を使って授業をしている。ただ、生徒同士のコミュニケーションにも必要となるので、今後、検討していく必要がある。</p> <p>・手話を第2言語化して、日常のコミュニケーションでも使っている会社もあるので、それを伝えて、声掛けしてほしい。</p> <p>・低い評価の生徒が少数でも大事にして、手話が身近ではない生徒もそこを乗り越えられたら、学校も楽しくなる。</p> <p>5 令和4年度学校経営計画【学校長】 令和4年度学校経営計画、出席委員の全会一致で承認。</p> <p><u>各委員からのご意見</u></p> <p>・健康を軽んじている生徒もいる。学校教育の段階で、働く意義などを上げてもらいたい。</p> <p>・自分の価値を大事にするには、周囲に認めてもらうことが大事。コロナで一番失われているのが、学校行事や仲間との時間で、お互いに理解を確かめ合うことが大切である。</p> <p>・今後、コロナがなくなったら、さらにコミュニケーション能力が必要となる。また、コロナに罹患した場合、保健所とメールやLINEによる連絡となる。入院した場合も筆談となるので、文章力が必要となるので、コロナになった際のコミュニケーション方法も考えないといけない。コミュニケーションの大切さを、あらためて教えてほしい。</p> <p>・防災について、聴覚障がい者自身でタブレット等をもって使用する方や、アプリなどはあるか。</p> <p>→【学校長】防災について、緊急速報を伝える方法はあるが、聴覚障がい者の意思を受け取る方法はない。文章力も必要となる。今後、力を入れたい。</p> <p>6 保護者からの意見書について【事務局】</p> <p>・意見書の提出はなし</p>	
次回の会議日程	
日時	令和4年 6月 2日(木)10:00～
会場	大阪府立だいせん聴覚高等支援学校 校長室